

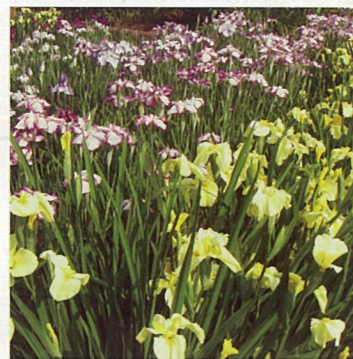
ONE 23

東京23区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」(第4号)

東京23区、花の散歩スポット

- ◎ 「歩く」面白い体験ができる公園
- ◎ 「学ぶ」田端文士村、池波正太郎の世界 特別講座
- ◎ 「知る」珍しい本に出あう
- ◎ 「食べる」23区でつくるスローフード





足立区：足立区立しょうぶ沼公園
ハナショウブの名所として親しまれ、園内のしょうぶ田には、江戸系を中心にさまざまな品種が植えられています。6月上旬から中旬頃が見ごろです。



荒川区：都電荒川線沿線 ※写真は三ノ輪橋停留所
5月中旬には、区民とともに育てた140種1万3200株のバラが沿線に咲き、また町屋駅では、「あらかわバラの市」が開催され多くの人々が賑わいます。



板橋区：板橋区立赤塚植物園
四季折々の草花が見られる赤塚植物園では、区の花に指定されているニリンソウが群生し、毎年3月下旬から4月中旬にかけて、可憐な花を咲かせます。



江戸川区：フラワーガーデン
東西3Kmの総合レクリエーション公園内にある洋風庭園です。四季の花が咲き誇り、中でも110種2500株のバラは、春と秋の年2回楽しめます。



大田区：大田区立宝来公園
田園調布駅から放射状に伸びる銀杏並木の南端の位置にある公園内には、鮮やかな黄色い花を咲かせる「キショウブ」が群生しています。5月中旬が見ごろです。



葛飾区：葛飾区立堀切菖蒲園
江戸の名所の一つとして古くから知られ、現在も約200種、約6000株が植えられています。見頃を迎える6月には、区内外から多くの来園者が賑わいます。



北区：北区立飛鳥山公園のJR線路沿い「飛鳥の小径」
6月ごろに約1300株のアジサイが、JR線路沿いの飛鳥山の裾を彩ります。少し足を延ばして、旧古河庭園の春バラとともに楽しむのがお勧めです。

この春、東京23区で花めぐり!

春の陽ざしに誘われて、ふらり、花木を眺めに出かけたい。そんなお散歩にぴったりの23区おすすめ花スポットを紹介します。

Spring has come!!
2011.



江東区：亀戸天神社
4月中旬から5月初旬にかけて、境内の藤棚に豊かな花房を実らせ、江戸時代から藤の名所として名高く、毎年の藤まつりは多くの人でにぎわいます。



品川区：品川区立公園「ねむの木」
平成16年に皇后美智子さまのご実家のあった旧正田邸跡地に開園し、ディクソン社から献呈されたバラ「プリンセスミチコ」が華やかに咲いています。



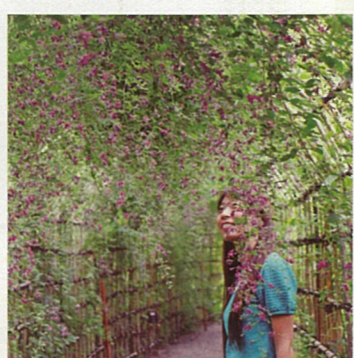
渋谷区：明治神宮内苑の菖蒲田
ハナショウブは区の花に制定されています。菖蒲田には150種1500株が植えられ、最盛期には1万輪もの花が咲き競います。花期は、5月～6月です。



新宿区：新宿駅東口周辺
新宿駅東口を降りて繁華街に出たら、ふっと上を見上げてみてください。街路灯に飾られた花が、雑踏に四季の彩りを添えて、あなたを迎えてくれます。



杉並区：杉並区立読書の森公園
みどりにふれながら読書に親しめる読書の森公園では、「平和と人権」のシンボルとして「アンネのバラ」が、春、秋に多くの人々を楽しませています。



墨田区：向島百花園
四季折々の花が咲く庭園です。特に萩を竹の欄にそわせてトンネル状にした「萩のトンネル」は、9月頃に約30mの見事な花のトンネルになります。



世田谷区：フラワーランド（瀬田農業公園）
区民が自分達で花を育てることができる公園です。バラのトンネルや、区の花さざん草、ハーブガーデン等四季折々の花が楽しめる、園芸教室も開催されます。



台東区：台東区立御徒町公園
1本の大きな「なんじゃもんじゃの木」。本当の名前はヒトツバタゴ。5月初旬にふんわりと雪が降り積もったように咲く白い花は、息をのむ美しさです。



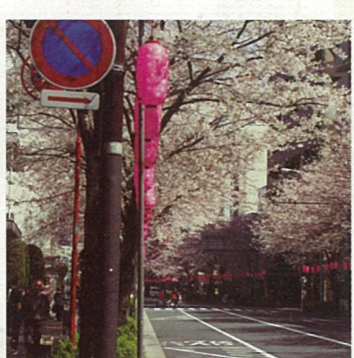
中央区：中央区立新川公園
隅田川沿いの園内では、4月上旬に約60本のソメイヨシノと約5000株のレンギョウが同時に見頃を迎え、淡紅色と黄色の美しいコントラストが楽しめます。



千代田区：千代田区立清水谷公園
区のアダプト制度（区民による草花の管理システム）を活用し、地域の皆さんが緑化に努めている紀尾井町の清水谷公園。四季折々の花が楽しめます。



豊島区：都電荒川線沿線（大塚駅南口から向原方面）
「都電とバラ」を大塚の風物詩にと、地元ボランティア「南大塚都電沿線協議会」が大切に育てています。初夏と秋に430種、680本ものバラが咲き誇ります。



中野区：中野通り
桜の季節、JR中野駅から中野通りを北に進むと、約2Kmにわたって桜のアーチが続き、新井薬師や哲学堂公園など中野の名所にも寄り道できます。



練馬区：練馬区立平成一つじ公園
区の花つつじにちなんで、さまざまな品種のつつじが植えられています。都内最大級で約600品種、1万6000株あり、例年4月中旬に見ごろをむかえます。



文京区：文京区立本郷給水所公園
本郷給水所上部の人工地盤に造成された公園。明るく開放的な花壇に約300株の色とりどりのバラの花が咲きます。5月中旬頃と10月中旬頃が見頃です。



港区：港区立芝浦中央公園
下水道局芝浦水再生センターの上部に造られた人工地盤の公園です。サクラ、ツツジの他「区の花」であるバラが30種類以上咲き誇るバラ園があります。



目黒区：目黒区立中目黒公園
目黒区立中目黒公園では、ボランティアの方々の活動により、四季を通してきれいな花が咲いています。車イスに乗ったままでも楽しめる花壇もあります。

*花期は目安です。お出かけの際にはご確認のうえ、おでかけ下さい。
*掲載はあいうえお順です。

歩く

春のポカポカ陽気に誘われて、公園にお出かけしませんか。
子どもと一緒に、ペットと一緒に。家族みんなで楽しめる、
ちょっと面白い体験ができるスポットを紹介します。

世田谷区周辺

1 ミニSLに乗れる 世田谷公園 (世田谷区)

休日と祝日、水曜日の午前10時～午後4時(冬季は3時まで)、10分～15分間隔で、ミニSL「ちびくろ号」が運行し、乗車を体験できます。中学生以上70円、小学生30円、未就学児無料。当日受付で楽しめる洋弓場もあります。1時間200円(土日祝は250円)。▼世田谷区池尻1-5-27(最寄り駅:渋谷駅からバスで「自衛隊中央病院入口」下車。☎公園管理事務所03-3412-7841。



2 動物にふれあえる 碑文谷公園 (目黒区)

園内の弁天池ではボートに乗ることができます(30分100円)。また、「動物ふれあい広場」では、モルモットやウサギなどの小動物とふれあえるほか、ポニーの引き馬(1人1回150円)や乗馬体験(要予約)もできます。月曜・祝翌日(月曜が祝日の場合はその翌日)休み。▼目黒区碑文谷6-9-11(最寄り駅:学芸大学駅)。☎目黒区みどり公園課03-5722-9741。



3 おもしろ自転車体験 駒沢オリンピック公園 (世田谷区)

全長約2kmのサイクリングコース、子ども向けのチリリンコース、ファミリーコースがあり、親子でサイクリングが楽しめます。2人乗り自転車「タンデム」や、親子で乗れる6人乗り四輪自転車「ベアベア」の貸し出しも(有料)。月曜休み。▼世田谷区駒沢公園～目黒区東が丘2丁目(最寄り駅:駒沢大学駅から約15分)。☎公園サイクリングセンター03-3422-5444。



4 愛犬と一緒に遊ぼう 蘆花恒春園 (世田谷区)

面積1450㎡のドッグランがあり、リードなしで愛犬と一緒に遊べます。大型犬用と小型犬用のスペースに分離され、地元ボランティアが芝の張り替えなどの整備もしています。利用には事前登録が必要です(犬鑑札と狂犬病予防注射済票を持参、午前9時～午後4時に当日受付も可)。▼世田谷区粕谷1-20-1(最寄り駅:八幡山駅から約15分)。☎03-3302-5016。



ポニーに乗ってみよう

温厚で素直な馬は、敏感でデリケートな心を持つ動物です。一緒にいる人間の心を感じ取ると言われ、乗馬をすることで私たちの不安や恐怖感が軽減される“癒し”効果もあるそうです。

23区内には、子どもを対象にしたポニーの引き馬体験ができる場所がたくさんあり、中には本格的な乗馬が学べるスクールを実施しているところもあります。

馬に乗れる23区のスポット

- 馬事公苑(世田谷区) ●代々木ポニー公園(渋谷区) ●東板橋公園(板橋区) ●篠崎ポニーランド(江戸川区)
- なぎさポニーランド(江戸川区) ●上千葉砂原公園(葛飾区) ●水元中央公園(葛飾区) など ※開催日時などは各公園に要確認



column

「ポニー」って仔馬のこと?

「ポニー」というのは、体高(地面から首の付け根の「き甲」という部分までの高さ)が147cm以下(148cmなどとする説もあります)の、小型の馬の総称です。つまり、ポニーは大人になってもポニーです。良い血統のサラブレッドも体高が小さければポニーとみなされます。アルゼンチン原産の「ファラベラ」というポニーは、なんと体高が70cm程度で、乗馬に使用せず主にペットとして用いられています。

知る

特別区自治情報・交流センターは、23特別区の情報を発信しています。区の施策や観光情報、あらゆる統計データ、書籍をそろえて、みなさんのお越しをお待ちしています。

珍しい本に出会えます！

TOKUBETSU SELECTIONS



創刊号

特別区協議会

開催時間

月～金曜日：午前9時半～午後8時半 土曜日：午前9時半～午後5時

貸出方法：1人3冊まで、期間は2週間です。貸出には利用者カードを作成しますので、ご住所が確認できるものをお持ち下さい。

東京区政会館4階の特別区自治情報・交流センターは、区行政に関連する東京都の資料や雑誌など、約5万8千冊の資料を所蔵し、その一部については貸し出しを行っています。今回は、その中でも、ここにしかない珍しい資料をピックアップしてご紹介します。

「区政春秋」

昭和28(1953)年に特別区の機関誌として創刊された「区政春秋」(写真)。廣瀬俊吉・元特別区長会長によれば、この機関誌は「特別区関係者はもとより、東京都・政府・国会およびその他の団体からも広く識見を求め、その研究発表の機関誌」とすることを期待して刊行されました。

「東京五十区縮図」

明治2(1869)年、それまでの旧江戸町奉行所の管轄が改められ、東京府の範囲として新たに五十の“番組”が定められました。「東京五十区縮図」は、その五十組の管轄図です。この制度は、明治2年3月から明治4(1871)年6月までのみ施行された極めて短期間の制度でした。

原本は非公開ですが、原寸複製とB4判の冊子を開覧することができます。

「建築雑誌合本(1924年版・1927年版)」

大正12(1923)年の関東大震災直後の被災状況や震災に関する講演録など、当時の状況を伝える貴重な専門誌の合冊本です。

目黒区の魅力紹介展示

「私の中のめぐろ展 —あなたに伝える名場面—」

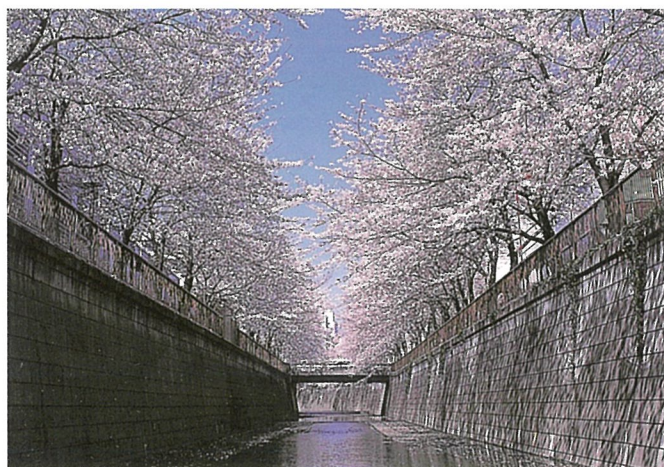
目黒不動など歴史のある神社仏閣や「目黒のSUNまつり」があるまち。目黒川の桜やみどり豊かな公園が広がるまち。中目黒や自由が丘などおしゃれなお店が立ち並ぶファッション性の高いまち。

そこには、新旧の文化が調和して醸し出す名場面があります。暮らす人にも訪れる人にもやさしい目黒区の魅力をぜひご覧ください。

開催日時

東北地方太平洋沖地震の影響により延期いたします。

月曜日～金曜日 午前9:00～午後8:30
土曜日 午前9:00～午後5:00 (日曜・祝日は休み)



(写真提供・目黒区)

学ぶ

いくつになっても学びたい。そんな人のために、
「首都大学東京オープンユニバーシティ飯田橋キャンパス」。
ここでしか受講できない講座も作りました。

東京区政会館3階では、首都大学東京と連携し「首都大学東京オープンユニバーシティ(OU)」を開講しています。講師は、同大の教授陣が中心。テーマは、地球環境や高齢化社会などの自治の課題から芸術、ことば、歴史、経済・ビジネス、から

健康など、幅広い学習ニーズに応えるラインナップがそろっています。年齢、性別などの制約はありません。どなたでも学ぶことができます。4～6月に開かれる講座のなかから、イチオシの講座を紹介し

【原則、各講座開講の2週間前までにお申し込み下さい。各講座とも、定員になりしだい締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒にお支払い下さい。会員資格は、退会のお申し出がない限り有効です。申し込み後、銀行振込・払込票・クレジット(WEBで申し込み場合のみ可)のいずれかで受講料を支払った後、「受講のご案内」をお送りします。】

特別区協議会プレゼンツ 特別講座

1 文芸芸術家との出会い

—「田端文士村」を知る・歩く・探る—

永井康友・長谷川理恵子・黒崎力弥(田端文士村記念館 研究員)

芥川龍之介や室生犀星、板谷波山などが暮らした田端。田端文士村記念館の研究員が、芸術家たちの交友や作品制作の裏話などを解説します。2回目は現地の散策を予定。

4月22日、5月27日、6月24日(金)
14時～15時半
7,300円(3回)
定員28名

2 池波正太郎の世界 春編

鶴松房治(池波正太郎記念文庫 指導員)

池波正太郎の自筆原稿や創作ノート、絵画などを見ながら主な作品や生い立ち、特徴を解説。古地図を参考に小説の舞台を紐解くなど、池波ワールドの魅力に迫ります。

4月27日、5月25日、6月22日(水)
13時半～15時
7,300円(3回)
定員40名



有料講座

不況に負けない
家計運用塾—大切
なお金を減らさないために—



田中 順
日本FP協会ファイナンシャルプランナー

不況と高齢化の中での資産運用のキーワードは「減らさず長持ちさせること」。出産や子供の進学、定年などの節目を迎える方や、貯金がうまくいかない方、資産配分に悩んでいる方などにおススメの講座です。

5月11、18日(水)
18時半～20時
4,900円(2回)
定員20名

有料講座

オペラ界の旬の
歌手たち
—イタリヤを楽しむ—



辻 麻子
本学教授

2011年は外来のオペラ公演のラッシュ。注目の若手スター歌手の最近の映像を中心に、過去のスターたちと比較しながらその存在感を味わう。観劇前の予習や新たなスターに関心のある方にぴったり。

5月13、20、27日、6月3日(金)
10時半～12時
9,700円(4回)
定員20名

有料講座

癒され元気に
なる家の設計
(新築と改修)



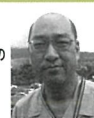
連(むらじ) 健夫
建築家

癒され元気になる住まいをいかに得るのか、デザインするのかについてわかりやすく解説。耐震構造、省エネ技術、業者の見分け方、予算のたて方、見積書の見方の他、家の設計を疑似体験するワークショップも。

5月24、31日、6月7、14、21、
28日、7月5日(火)
19時～20時半
16,900円(7回)
定員15名

有料講座

水から見える
地球の姿—地球上の
多様な水循環を学ぶ—



松山 洋
本学准教授

「水循環と水収支」をキーワードに、地球、大陸、日本国内それぞれの規模での観測例を紹介。熱帯、寒冷、湿潤、半乾燥地域など様々な地表面状態を知ることで、研究の最前線を体感する。

5月27日、6月3、10、17、
24日(金)
10時～11時半
12,100円(5回)
定員20名

有料講座

最新
高齢者ケア・
レクリエーション

井上 薫
本学准教授
藤木 晃宏
臨床美術士
和田 一義
本学准教授

実践を通して高齢者ケアの考え方を学ぶ。欧米を中心に注目されるアザラシ型ロボット「パロ」を用いたケアも紹介するとともに、アートセラピーの体験も行う。各分野の専門家を招いたオムニバス形式の講座。

6月3、10、17日(金)
19時～20時半
7,300円(3回)
定員20名

各講座への申し込み方法

首都大学東京オープンユニバーシティ事務局

電話 042-677-2362 (平日9時～19時) FAX 042-677-2364 WEB <https://www.ou.tmu.ac.jp/>

食べる

東京23区。日本一せわしないこの都市で、
ゆっくり、じっくりと時間をかけて
酒や酢をつくっている人たちがいます。



湧水を使った江戸の酒「丸真正宗」

東京都と埼玉県の間を流れる荒川。この川にかかる国道122号線・新荒川大橋のすぐ近くにある小山酒造は、「丸真正宗」の名で知られる東京23区で唯一残る日本酒の酒蔵だ。

日本酒は米を発酵させて作る醸造酒。「酒母」と呼ばれる培養した酵母に、麴、水、蒸し米を3回に分けて仕込むが、3回目の仕込みを終えてから酒ができあがるまで約1カ月がかかる。「酒づくりは時間がかかる。発酵とはそういうものです。急いでもしょうがない」と、4代目で代表取

締役社長の小山光三さん(63)は笑う。

初代の小山新七が、宿場町だったこの地で秩父を源流とする湧水に出あい、酒づくりをはじめたのは1878(明治11)年のこと。当時、地面を掘ると2mもの水が噴き出したと言う湧水は、今も蔵の裏にこんこんと湧き、仕込み水として使っている。

小山酒造では、数値を徹底的に分析することで安定した味と品質を誇る。蔵は冷暖房完備。ほぼ1年中酒造りをする事ができる。小山さんは「最高の酒を造っても消費者に受け入れられなくてはダメ。飲んでもらえる酒を造っていきたい」と話す。



建て替え前の木造の酒蔵の看板や用具

小山酒造株式会社
北区岩淵町 26-10
Tel 03-3902-3451 Fax 03-3902-3453
<http://www.koyamashuzo.co.jp/>



職人が惚れこむ味「ヨコ井の酢」

1都3県で約千軒の寿司屋で使われている酢がある。江東区の新木場に本社を構える横井醸造工業、通称「ヨコ井の酢」だ。もとは明治時代から木場で材木業を営んでいたが、4代目で現社長の横井太郎さん(47)の祖父が一念発起し、せわしない材木業から、腰を落ちつけてじっくりと商いをする酢の製造をはじめた。「当時、祖父は深川周辺に多かった寿司屋に通い、どのような酢が好まれるのか職人から酢づくりを学んだそうです」と横井さん。

醸造酢は、米や麦を使った穀物酢やリン

ゴやブドウを原料とする果実酢などがあるが、古くから江戸前寿司で使われていたのは、酒粕を使った「赤酢」。白い酒粕をチョコレート色になるまで2年以上寝かすことで、旨みの多い酢ができる。これが江戸前寿司に欠かせない伝統の味をつくる。

ほかにも、独自にみだした糖化・アルコール・酢酸発酵の3種を同時に行う「固体発酵」でつくる黒酢「真黒酢」や、女性社員が発案したコンコード種のブドウ100%の「赤のぶどう酢」など、じっくりと丁寧に作った「ヨコ井の酢」は、和・洋・中華を問わずプロの職人に愛されている。



数年寝かせた酒粕は「赤酢」の原料となる

横井醸造工業株式会社
江東区新木場 4-2-17
Tel 03-3522-1111 Fax 03-3522-0451
<http://www.yokoi-vinegar.co.jp/>

屋外イベント特集 青空の下、でかけよう!



東京ミッドタウンGWイベント(昨年)

4月9日(土)、10日(日)
アウトドアデジヤパン2011
 午前10時～午後5時。代々木公園のイベント広場。キャンプ用品の今季モデルの展示販売、テントのたて方やアウトドア料理の講習、ステージなどがある。事務局(電話03-3357-2851)。
<http://www.autocamp.or.jp>

渋谷区

4月22日(金)～5月8日(日)
東京ミッドタウンGWイベント「OPEN THE PARK」
 東京ミッドタウンでは、一般参加型のギネス世界記録挑戦イベントやハイボルを楽しむ屋外カフェ、芝生でのヨガ、生産者による野菜・果物の販売などのGWイベントを開催。雨天中止のイベントあり。コールセンター(電話03-3475-3100)。<http://www.tokyo-midtown.com>

港区

4月23日(土)、24日(日)
アースデイ東京2011
 ブースは午前10時～午後5時、ステージは正午頃～8時頃。代々木公園で開く日本最大級の環境イベント。NPOや実行委員によるブース展示、地産地消などをテーマにした飲食の「アースデイキッチン」、コンサートなど。事務局(電話03-6416-0917)。<http://www.earthday-tokyo.org>

渋谷区

4月25日(月)～5月10日(火)
すみだ鯉のぼりフェア
 午前9時半～午後4時。東白根公園で450匹以上の鯉のぼりが大空を泳ぐ。4日は防犯交通フェア、5日は防火防災フェアのほか、期間中は産直品の販売、フリーマーケットなどがある。実行委(電話090-3501-9082)。<http://sumida-cutclub.net>

墨田区

5月3日(火・祝)～5日(木・祝)
第40回JRAホースショー
 午前8時半～午後4時半(3日は9時半～)。馬事公苑で、馬術大会が見られるほか、馬の演技や体験乗馬、馬車試乗会など馬と触れ合うアトラクションを開催。同苑(電話03-3429-5101)。
<http://www.jra.go.jp/bajikouen/>

世田谷区

5月14日(土)、15日(日)
東京バードフェスティバル2011
 午前10時～午後4時。東京港野鳥公園で、「いきものいるる楽しもう!」をテーマに開催。グッズの展示販売や、例年人気の「野鳥ウルトライズ」などイベントがある。入園料無料。事務局(電話03-3599-7305)。

大田区

5月15日(日)
しながわECOフェスティバル2011
 午前10時～午後3時。区役所前のしながわ中央公園ほかで、環境について考えるイベントを開催。各種アトラクションや環境に優しい乗り物の乗車体験、模擬店やフリーマーケットなど。区環境課環境推進係(電話03-5742-6755)。

品川区

5月28日(土)、29日(日)
東京港開港70周年祭
 午前10時～午後5時。晴海ふ頭など3会場で東京港の魅力と役割を紹介。晴海ふ頭では帆船の展覧や公開、臨海副都心では宝探しイベント(事前申し込み)、船の科学館では海のこともフェスタなど。都港湾局総務部総務課(電話03-5320-5524)。

江東区、品川区、中央区

※イベントについては、主催者に確認のうえ、お出かけください。

Events Calendar

23区のイベントカレンダー(4月～6月)

4月8日(金)
花まつり
 妙法寺。お釈迦様の誕生を祝う花まつり。午前11時、法要。本堂のままで見学できる。午前9時～午後3時頃、境内で甘茶のふるまいがある。同寺(電話03-3313-6241)。

杉並区

4月8日(金)～10日(日)
第29回日本観賞魚フェア
 午前10時～午後7時(8日は2時～、10日は5時まで)。タワーホール船堀1階展示ホール。「金魚の故郷」江戸川区で行う観賞魚の祭典。全日本金魚品評会や水産ディスプレイコンテスト、飼育器具・餌の展示など。700円。事務局(電話03-5678-6780)。

江戸川区

4月9日(土)、10日(日)
しながわ運河まつり2011
 午前11時～午後8時半(10日は3時半まで)。東品川海上公園と天王洲公園で、目黒川をのぼる遊覧船など例年人気の高い船企画のほか、約40の飲食屋台やフリーマーケット。実行委・なぎさの会(電話03-5461-3589)。<http://www.unga.jp/2011/>

品川区

4月16日(土)、17日(日)
代々木公園わんわんカーニバル
 午前10時～午後5時。代々木公園。愛犬グッズの販売やプロカメラマンによる無料の撮影会、2分間の「おすわりまで」に挑戦するスーパーシットなど愛犬家向けのイベント。事務局(電話03-3434-3223)。

渋谷区

4月18日(月)～4月末頃
はなしずめの祭
 稲荷鬼王神社。江戸時代、神前に花を供えて疫病が鎮まるよう祈ったことに始まる。神事は神主のみで行うが、常時100鉢以上のさくら草が境内に飾られ、楽しむことができる。同神社(電話03-3200-2904)。

新宿区

4月28日(木)～5月5日(木・祝)
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポニ「熱狂の日」音楽祭2011
 東京国際フォーラム及び丸の内・周辺エリアで行うクラシック音楽祭。プログラムは後期ロマン派がテーマ。約170の有料公演のほか、街角コンサートなど約130の関連イベント。事務局(電話03-5221-9100)。<http://www.lfj.jp>

千代田区

5月5日(木・祝)
銀座柳まつり
 午前11時から。西銀座通り、数寄屋橋公園などで開催。吹奏楽のパレードや大道芸、柳の苗や花のプレゼント、特設ステージで「こども夢舞台」の披露など、イベントを多数予定。事務局(電話03-3566-4003)。<http://www.ginza.jp/nishiginza/yanagi/>

中央区

5月12日(木)～18日(水)
神田祭
 神田神社。日本三大祭りのひとつで、今年は2年に1度の本祭。14日神幸祭。神輿行列が神田、日本橋、大手・丸の内、秋葉原を1日かけて巡行。15日神輿宮入。100基の町内神輿が順次参拝。同神社(電話03-3254-0753)。<http://www.kandamyoujin.or.jp/>

千代田区

5月14日(土)、15日(日)
さつきフェスティバル
 午前9時～午後5時(15日は4時まで)。板橋区平和公園で、区内の愛好家によるさつき盆栽の展示会や品評会のほか、家庭園芸品の展示、講習、植木・草花、区内産野菜、「板橋のいっぴん」の販売。区赤塚支所(電話03-3938-5114)。

板橋区

5月14日(土)、15日(日)
大赤羽祭
 赤羽小学校、赤羽駅前、赤羽会館、赤羽公園。メインは15日正午～4時半の大パレード。神輿やプラスチックバンド、子供マーチングバンド、踊り、仮装など約1万人が参加。ステージイベントも多数。赤羽一番街商店街(電話03-3901-8655)。

北区

5月14日(土)、15日(日)
池袋ジャズフェスティバル
 池袋西武池袋前、マルイシティ池袋前などで、公募で集まったアマプロのバンドが様々なジャンルの曲を演奏する。昨年は午後3時～8時の開催で、76バンドが参加。info@ikebukurojazz.com
<http://www.ikebukurojazz.com>

豊島区

5月15日(日)
照姫まつり
 午前10時～午後3時半。石神井公園とその周辺で、区民からの公募で選ばれた照姫など100人による行列が練り歩く。ステージイベントも多数ある。小雨決行。事務局(電話03-5946-3630)。
<http://teruhimematuri.com>

練馬区

5月19日(木)～22日(日)
三社祭
 浅草神社。江戸三大祭りのひとつ。21日正午、氏子44ヶ町約100基の神輿渡御。22日午前6時～、本社神輿の渡御。神輿を上下左右に荒々しく揺さぶりながら巡幸するさまは圧巻。同神社(電話03-3844-1575)。

台東区

6月4日(土)、5日(日)
天王祭
 素戔嗚神社。二本の棒で神輿を地面すれすれまで左右に揺って担ぐ勇壮な祭。今年は3年に1度の本祭。4日午前7時、宮出し。氏子区域を練り歩く。5日午後7時、宮入り。同神社(電話03-3891-8281)。

荒川区

6月7日(火)～17日(金)
山王祭
 日枝神社。江戸三大祭りのひとつ。今年は陰祭で神幸祭はないが、15日の例祭を中心に伝統的な祭事を多数開催。11日、子供が稚児の装束をまとい練り歩く夏越稚児まつり。里神楽の奉納や野点、神楽囃子のほか、期間中は狭山茶の接待もある(予定)。同神社(電話03-3581-2471)。

千代田区

6月11日(土)、12日(日)
鳥越祭
 午後6時。鳥越神社。11日は町内神輿渡御。12日、午前6時頃～午後9時頃、本社神輿渡御。「千貫神輿」とも言う都内有数の大きさの神輿が町を練り歩く。午後7時頃、提灯に火が入り、宮入りを幻想的に照らす。同神社(電話03-3851-5033、9時～5時)。

台東区

6月下旬
織笠祭
 浅間神社で、7月1日の富士山の山開きと神社の例大祭にさきがけて行う。高さ20メートル重さ1トンもある日本最大級の織(のぼり)10本を次々と立ち上げ五穀豊穡を祈願する。区の指定無形民俗文化財。詳細は問い合わせを。同神社(電話03-3679-6183)。

江戸川区

6月30日(木)
大祓・茅の輪くぐり
 午後6時。根津神社。夏の祓(おほはらえ)に、茅の輪をくぐり身を清める行事。神事に続き、神職とともに一般の参拝者も作法にのっとり輪をくぐる。茅の輪は数日前から設置される。同神社(電話03-3822-0753)。

文京区

特別区協議会 自治情報・交流センターからのお知らせ



知ってとく(都区)する話
東京23区のおいたち
 —東京大都市地域の自治史—

東京23区の自治の足跡をわかりやすく編集したハンドブックです。自治情報・交流センターで無料配布しています。



<http://www.research.tokyo-23city.or.jp>
 〒102-0072
 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館
 電話/03-5210-9051
 交通/●東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
 ●JR中央・総武線 飯田橋駅 出口徒歩5分